

題材名「体の部位」

目 標

- ・ A L T の先生といっしょに英語に親しむことができる。
- ・ 歌やゲームを通して、体の部位の英単語を覚えることができる。

コンピュータを利用する利点

体の部位の入った英語の歌を、スピードを変えて素早く提示することができる。また、学習した体の部位の絵を、電子黒板（スマートボード）上で操作することによって、楽しく効率的に体の部位の英単語を覚えることができる。

授業の流れ

GREETING

はじめのあいさつをする。



WARMING UP

よく使う表現を練習する。。



REVIEW

前時までの復習をする。



NEW WORD

体に関する単語を練習する。
福笑いコンテンツをする。



GAME

体に関する単語の定着を図る。
「Head sholders knees and toes」を歌う。



GREETING

終わりのあいさつをする。
「Good bye」を歌う。

ICT 活用場面

体の部位の英単語を学習した後、担任が質問した部位を見童がスマートボードで操作し、福笑いのように熊の形を完成させる場面で使用する。

また、その後、「Head sholders knees and toes」の歌を歌って、体に関する単語の定着を図る場面で使用する。この時もあらかじめ作成しておいた歌のコンテンツをスマートボード上で操作し、音楽のスピードを即座に変えられるようにしておく。

授業の最後に A L T の先生とあいさつをするときにもスマートボード上のソフトで「Good bye」の曲を流し楽しい雰囲気での学習が終われるようにする。



成果と課題

スマートボードを使用しての学習は、児童の視点がスマートボードや教師の手の動きなど一点に集まるので集中がとぎれずできる。教師もマウスを見ずに子どもを見ながらコンピュータの操作ができるので、教師の視点も定まる。ゲームだけでなく、歌を流すときも同様で、スムーズに授業を進めることができる道具である。今後もより効果的な指導法を研究していきたい。

本授業の中では、児童全員がスマートボードを触って操作することができなかった。全員が効率的にスマートボードを使える指導法を研究していきたい。

ICT 活用環境等

| | |
|--------|------------------------------|
| 使用周辺機器 | ノートパソコン、プロジェクタ、電子黒板（スマートボード） |
| 使用ソフト | スマートノートブック、フラッシュプレイヤー |
| 使用教室 | 多目的ホール |